



産業建設

常任委員会

産業建設常任委員会に付託を受けた議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

付託
議案**5**件
報告**3**件(議決不要)

- 委員長／木下 敬夫
- 副委員長／佐藤 喜典
- 委員／久保 吉彦、杉木 勉、垣内 武司、高僧 弘、今田 勇雄

【議案第86号】 七尾市中心市街地観光交流センター条例について

- 問** 入場料が800円というのは妥当と考えるのか。
- 答** 800円というのは上限と考えている。その料金を下回る金額であれば入場料は変更できるが、上回る金額であれば条例を改正しなければならない。たとえば、入場料500円と条例で定めたとして、何か特別展示などをしたときに700円の入場料にしたいと思っても、直ぐに入場料を変更できないので、ある程度の料金設定を考慮して800円とした。

【報告第25号】 法人の経営状況の報告について(株式会社七尾フラワーパーク)

- 問** 旧食遊館のスペースの活用策として、イベント時に何か軽食を出すようなことは可能なのか。
- 答** 今のところは弁当やおにぎりなど単価の安いものを販売している。必要なものは要望に応じながら対応していく。
- 問** マレットゴルフ場、パークゴルフ場が7月に完成したが、今のところの利用状況は。
- 答** 7月に完成し、さっそく県大会も開催されるなど利用状況は良好。以前からあるグラウンドゴルフ場などを含めて、昨年と比べても全体的に25%増の利用状況になっている。
- 問** せっかく投資した施設なので大いに利用してほしい。
- 答** 完成後は市民以外にも、中能登町や氷見市の方々もこの施設を利用している。今後もサービス面など考慮しながら利用拡大に努める。

【議案第89号】 公有水面埋立諮問について ※庵、鶴浦、太田新線道路について

- 問** この道路整備について、長い年月が掛かっているが、一日も早い完成を望んでいる。
- 答** 県の方にも、強く早期完成に向けた要望をしていく。地元の方々にもご協力いただくよう伝えている。
- 問** 若干、用地買収が残っているのは難しいことなのか。
- 答** 県の事業でははっきりしたことは分からないが、護岸工事の関係で少し用地買収が遅れていると聞いている。
- 問** 早期完成を求めて用地買収に失敗しても困るため、いろいろと県と協力していく必要があると思うのでしっかりとフォローしてほしい。
※要望のため答弁なし

【議案第78号】 平成27年度七尾市一般会計補正予算(第3号) ※農林水産業費:中山間地域直接支払交付金について

- 問** 57地区から53地区に減った理由は。
- 答** 地元の申請に基づいて行う事業で、人手不足や調整不足で対応できない地区が出てきた。事業を途中で終えると全額返金にもなるので、地元総意のもとで減っている。
- 問** 対応できない地区には、いろいろと指導してやっていけないのか。
- 答** 農家の高齢化などで大変苦しいところもある。隣の地区の方と連携して事業を進める「集落協定」という方法もある。そのような方法なども含めて指導・周知していく。



教育民生

常任委員会

教育民生常任委員会に付託を受けた議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

付託
議案**5**件
報告**2**件(議決不要)

- 委員長／山添 和良
- 副委員長／高橋 正浩
- 委員／松本 精一、伊藤 厚子、大林 吉正、石川 邦彦、中西 庸介、木下 孝輝

【議案第95、96、97号】 工事請負契約の締結について ※七尾中学校の建設にかかる工事請負契約について

- 問** 七尾中学校の工事請負契約の締結で創作棟・アリーナ棟の電気設備はどうなったのか。
- 答** 28日の入札で落札者がいなかった。9月1日に公告、9月8日に再入札の予定。
- 問** 確認だが、また追加議案で創作棟・アリーナ棟の電気設備とグラウンド工事が計上されるのか。
- 答** 電気設備については、1億5千万円未満の予定なので議決案件ではない。また、グラウンド工事については、分けて何本か発注をかける予定なので、議決案件ではない。

【議案第78号】 平成27年度七尾市一般会計補正予算(第3号) ※在宅育児家庭通園保育モデル事業について

- 問** 在宅育児家庭通園保育モデル事業で少し確認したいのだが、認定こども園で週2~3回の保育サービス利用支援とは、月でいうとどんな感じになるのか。
- 答** 1ヶ月で8回から12回ということになる。曜日を決めて保育サービスを実施することになる。
- 問** 何歳児でも週3回ぐらい利用できるのか。
- 答** 県の要綱では、0・1・2歳児が利用できるが、0歳児は週1回、1・2歳児になると週3回程度と回数が見られている。

【報告第29号】 法人の経営状況報告について(公益財団法人演劇のまち振興事業団)

- 問** 保守・管理委託業務で、一番高いのが裏の大扉の昇降機だと思うが、保守料はいくらぐらいか。
- 答** 定期点検で200万円ほど。
- 問** 中部日本高校演劇ワークショップが毎年、演劇堂で開催され、多くの生徒がくるが、市外で宿泊しているらしい。市内で宿泊させることはできないのか。
- 答** 事務局と協議をしながら、市内で宿泊するよう働きかけていく。

【その他】 ※健康福祉部その他 生活困窮者自立支援制度について

- 問** 本会議でも質問したが、この学習支援事業では、どんな方が支援員になっているのか。また、支援を受けている子どもたちはどんな生活環境なのか。
- 答** 学習支援員は、教員のOBで校長経験もある。現在2名にお願いしている。対象の子どもの生活環境については、生活保護世帯、就学援助世帯または児童扶養手当の受給世帯で一人親の家庭である。あくまで貧困の連鎖を断ち切るということであるので、低所得世帯の中学3年生を対象として募集している。
- 問** 部長の答弁で教室方式と言っていたが、前の部長の答弁では家庭訪問と聞いていた。どのような経緯で変更になったのか。
- 答** 当初は家庭訪問方式で実施すると答弁したが、家庭訪問方式をやめたわけではない。検討する中で、他人を家庭に入れることを拒否する方もいる。現在も募集に際して、家庭訪問方式と教室方式を選択できる。申し込み時に、支援員、市の担当、保護者、本人の4人で話をする中で、家庭の中で一定の時間を過ごすよりも外へ出て共に学んだ方がいいのではないか、同じ境遇の方がいるのであれば、教室方式に変更したいと保護者から言われている。決してこちらから誘導したわけではない。